

様式第1号(第6条関係)

ばい煙発生施設設置(使用・構造等変更)届出書

年 月 日

岡山市長 様

住所 (所在地)

氏名 (名称及び  
代表者氏名)

岡山県環境への負荷の低減に関する条例(平成13年岡山県条例第76号)第7条第1項(第8条第1項, 第9条第1項)の規定により, ばい煙発生施設について, 次のとおり届け出ます。

工場等の名称		※整理番号	
工場等の所在地		※受理年月日	年 月 日
ばい煙発生施設の種類		※施設番号	
ばい煙発生施設の構造	別紙のとおり	※審査結果	
ばい煙発生施設の使用の方法		※参考事項	
ばい煙の処理の方法			

備考

- 1 ばい煙発生施設の種類欄には, 岡山県環境への負荷の低減に関する条例施行規則(平成14年岡山県規則第40号)別表第1に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 ※印の欄には, 記載しないこと。
- 3 ばい煙発生施設の構造, ばい煙発生施設の使用の方法, ばい煙の処理の方法の欄に関する別紙(1)~(3)を添付すること。

## 別紙(1)

## ばい煙発生施設の構造

工場等における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規模	伝熱面積(m <sup>2</sup> )		
	バーナーの燃料の燃焼能力 (重油換算 ℓ/h)		
	原材料の処理能力(t/h)		
	火格子面積又は羽口断面積 (m <sup>2</sup> )		
	変圧器の定格容量(kVA)		
	乾燥施設の容量(m <sup>3</sup> )		
	電流容量(kA)		
	ポンプの動力(kW)	別図のとおり	別図のとおり

## 備考

- 1 変更届出の場合には、変更のある部分について変更前(左欄)及び変更後(右欄)の内容を対照させ、その他の部分については右欄には記載しないこと。
- 2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 3 規模の欄には、岡山県環境への負荷の低減に関する条例施行規則別表第1に掲げる施設につき規模欄に規定する項目について記載すること。
- 4 ばい煙発生施設の主要寸法を記入した構造概要図を添付すること。

## 別紙(2)

## ばい煙発生施設の使用の方法

工場等における施設番号			
使用方法変更年月日		年 月 日	年 月 日
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	時～ 時 時間/回 回/日 日/月	時～ 時 時間/回 回/日 日/月
	季節変動		
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る)	種類		
	使用割合		
	原材料中の成分割合(%)	硫黄分 鉛分 ｶﾞﾙﾌﾞﾐﾝ分 弗素分	硫黄分 鉛分 ｶﾞﾙﾌﾞﾐﾝ分 弗素分
	1日の使用量		
燃料 又は電力	種類		
	燃料中の成分割合(%)	灰分 硫黄分 窒素分	灰分 硫黄分 窒素分
	発熱量(kcal/kg又はkcal/Nm <sup>3</sup> )		
	通常の使用量(l/h又はNm <sup>3</sup> /h)		
	混焼割合		
排出ガス量(Nm <sup>3</sup> /h)		最大 通常	最大 通常
排出ガス温度(°C)			
排出ガス中の酸素濃度(%)			
ばい煙濃度	ばいじん(g/Nm <sup>3</sup> )	最大 通常	最大 通常
	硫黄酸化物(容量比ppm)	最大 通常	最大 通常
	ｶﾞﾙﾌﾞﾐﾝ及びその化合物(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大 通常	最大 通常
	塩素(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大 通常	最大 通常
	塩化水素(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大 通常	最大 通常
	弗素, 弗化水素及び弗化珪素(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大 通常	最大 通常
	鉛及びその化合物(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大 通常	最大 通常
ばい煙量	硫黄酸化物(Nm <sup>3</sup> /h)	最大 通常	最大 通常
	窒素酸化物(Nm <sup>3</sup> /h)	最大 通常	最大 通常
参考事項			

備考 1 変更届出の場合には、変更のある部分について変更前(左欄)及び変更後(右欄)の内容を対照させ、その他の部分については右欄には記載しないこと。

2 原材料中の成分割合(%)及び燃料中の成分割合(%)の欄の記載に当たっては、質量百分率又は体積百分率の別を明らかにすること。

3 ばい煙濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

4 ばい煙濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。

5 参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載すること。

ばい煙の処理の方法

ばい煙に係る処理施設の工場等における施設番号					
処理に係るばい煙発生施設の工場等における施設番号					
ばい煙処理施設の種類, 名称及び型式					
設置年月日			年 月 日	年 月 日	
着手予定年月日			年 月 日	年 月 日	
使用開始予定年月日			年 月 日	年 月 日	
処理能力	排出ガス量(Nm <sup>3</sup> /h)	最大			
		通常			
	排出ガス温度(°C)	処理前			
		処理後			
	ばい煙濃度	ばいじん(g/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
			処理後		
		硫黄酸化物(容量比ppm)	処理前		
			処理後		
		カドミウム及びその化合物(mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
			処理後		
		塩素(mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
			処理後		
		塩化水素(mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
	処理後				
	弗素, 弗化水素及び弗化珪素(mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前			
		処理後			
	鉛及びその化合物(mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前			
		処理後			
	窒素酸化物(容量比ppm)	処理前			
		処理後			
ばい煙量	硫黄酸化物(Nm <sup>3</sup> /h)	最大	処理前		
		通常	処理後		
			処理前		
		処理後			
捕集効率%	ばいじん				
	硫黄酸化物				
	カドミウム及びその化合物				
	塩素				
	塩化水素				
	弗素, 弗化水素及び弗化珪素				
	鉛及びその化合物				
	窒素酸化物				
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等		時~時 時間/回 回/日 日/月	時~時 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動				
排出口の実高さH <sub>0</sub> (m)×頂上内径φ(m)			m <input type="checkbox"/> m× m φ m	m <input type="checkbox"/> m× m φ m	
補正された排出口の高さH <sub>e</sub> (m)					
排出速度(m/s)					

備考 1 変更届出の場合には, 変更のある部分について変更前(左欄)及び変更後(右欄)の内容を対照させ, その他の部分については右欄には記載しないこと。

2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に, 使用届出の場合には設置年月日の欄に, 変更届出の場合には設置年月日, 着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に, それぞれ記載すること。

3 ばい煙濃度は, 乾きガス中の濃度とする。

4 補正された排出口の高さH<sub>e</sub>は, 平成14年岡山県告示第185号(岡山県環境への負荷の低減に関する条例)に基づく排出基準, 構造等の基準及び排水基準の算式により算定すること。

5 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。